

新春のごあいさつ



Yasuo Quashi

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、お健やかに新年をお迎えのことと慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、市民生活や地域経済は一変し、市内においても各種行事やイベントが中止になるなど、誰もが経験したことのない年となりました。

このような中、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業について、当初予定していた令和5年春から1年遅れるという見通しが国土交通省から示されました。新幹線開業を地域活性化の起爆剤と捉えてきたあわら市としては、極めて残念ではありません。現在、駅周辺では本年4月に開業を予定している西口立体駐車場の建設を進めており、また、春には芦原温泉駅のランドマークとなる「西口賑わい施設」の建設に着手いたします。駅周辺の整備については、今後こうした歩みを止めず、令和5年春の完成を目指します。

さらに、新幹線の開業効果を市内全域に波及させるため、「和心あふれる国際的な感幸地」をコンセプトとした観光振興戦略に基づき、引き続き、観光資源の磨き上げや新たな観光商品の開発、魅力発信の強化などを推進し、誘客拡大を図ってまいります。

国の史跡である「吉崎御坊」は、今年、開山550年の節目の年を迎えます。あわら市北部の自然や歴史・文化、食などの地域資源を最大限に活かして、吉崎地区に新たな観光や地域活性化の拠点となる道の駅「蓮如の里あわら」の整備を進めてまいります。

また、各集落においては、平成31年3月に策定した「まち・むらときめきプラン」に基づき、主体的で特徴的な活動が増えています。地域を担う人づくりにも注力し、集落コミュニティの活性化に努めてまいります。

さて、依然として新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況において、ウィズコロナ時代における「新しい生活様式」が求められています。市では、感染症対策はもとより、引き続き、市民への生活支援や経済対策を講じてまいります。

また、結婚・出産・子育てへの支援や高齢者の健康づくり、空き家の利活用による定住・移住の促進、多発する大規模災害への対策強化などについても関係機関や市民の皆さまと手を携えながら、一歩一歩着実に取り組んでまいります。

新たに迎えたこの1年も「誰もが夢や希望を持ち、ワクワク・ドキドキ・キラキラ」と笑顔で元気に暮らす活力あるまちづくり」を目指し、全力を尽くしてまいります所存でございますので、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

あわら市長 佐々木 康男



未来を担う北陸新幹線

芦原温泉駅開業に向けて

市では、北陸新幹線芦原温泉駅開業に向け、写真①の西口賑わい施設をはじめ、駅周辺整備を進めています。整備予定について、最新の情報をお知らせします。

まず、写真②～④の西口賑わい施設内にある魅力体感施設は、「あわら温泉」をはじめ、市内の観光地や自然、歴史、まつり、坂井北部丘陵地のフルーツなどのほか、県を代表する観光地の魅力が体感できる情報発信スペースです。また、同施設内のカフェレストラン・物販店舗は、市内に本社を置く(株)三丹本店を出店予定者に決定し、令和5年春のオープンに向けて準備を進めていきます。次に、写真⑤の西口立体駐車場は、1階から屋上までを含めた収容台数が、車300台、バイク12台、自転車101台となっております。こちらは、令和3年4月の供用開始予定です。最後に、写真⑥のビジネスホテルは、芦原温泉駅西口エリアに建設され、8階建て126室を備えています。こちらは、令和4年春にオープン予定です。



① 芦原温泉駅西口賑わい施設外観
② 魅力体感施設 (あわらの湯)
③ 魅力体感施設 (あわらの食)
④ 魅力体感施設 (福井の旅)
⑤ 西口立体駐車場
⑥ ビジネスホテル



※ 画像は全てイメージです。

未来のために。

次の世代へ選ばれる福井へ

「ふくいSDGsパートナー」

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで、採択された2030年までの国際目標です。県では、だれ一人取り残さないという理念に沿いながら持続可能な地域や社会づくりを進めるための官民連携プラットフォーム「福井県SDGsパートナーシップ会議」を創設。この会議に参加する企業や団体、教育・研究機関、NPO、自治体などの多様な主体を「ふくいSDGsパートナー」として募集や登録をしています。市もさらなる地域づくりを目指すため、10月6日(火)に登録を行いました。



市ができることを

- このまちで暮らす市民も、これから市民になろうとする人も、みんなが暮らしやすくて幸せを実感できるまちを目指します。
- 北潟湖の自然再生に関する啓発活動
 - 児童生徒のふるさと教育の推進
 - インターンシップを実施する企業と参加する求職者への支援
 - 出会いから成婚までの支援

3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	

▲ 達成に向けて取り組む主なゴール

※ 宣誓書から抜粋。